

鴨川等のオオサンショウウオ調査の結果について

文化財保護課記念物担当

調査の目的 天然記念物の保護対策を講ずるため、遺伝子検査により特別天然記念物オオサンショウウオと近縁外来種であるチュウゴクオオサンショウウオの混在状況を把握する。

調査対象地域 京都市内の鴨川水系、桂川水系、由良川水系の河川域

調査の主体 京都市文化市民局文化財保護課

調査予定年次 平成 23 年度から平成 28 年度

◎平成 23 年度の調査結果

捕獲河川	総捕獲個体数	在来種数	交雑種数	外来種数	判別不明
賀茂川	81	2	57	6	16
鞍馬川	6	1	5	0	0
高野川	3	1	2	0	0
鴨川水系合計	90	4	64	6	16
上桂川(花脊)	15	1	12	0	2
清滝川	9	9	0	0	0
久我橋下流	11	11	0	0	0
総合計	125	25	76	6	18

結果の説明

- 外来種の混在が予想されていた北区の鴨川上流部では、捕獲個体の 9 割以上が交雑種であり、在来種・外来種ともに僅かな割合でしか生息していないことが明らかとなった。
- 鴨川が桂川と合流する付近の桂川（久我橋下流部）及び清滝から捕獲・検査された 20 個体はすべて在来種であった。
- 桂川の最上流部（花脊）で捕獲された 15 個体のうちの 12 個体が交雑種であったことは予想外であり、今後、鴨川以外の水系でも並行して調査する必要性が高まった。

